

- (1) 小人ハカセの空とぶキューは、海の中のブラックバードのそうくつにフワリとおりてきました。そして中から小人ハカセがおりてきたから
- (2) フクメンたちはおどろいて、「やいッ、手向かいするか」「とんでもない。わしはミドリをむかえに來ただけだ。手向かいなどせんよ」「なにーッ、こいつめー」
- (3) ダダーン、ダーン。フクメンがピストルでうちましたが、タマは小人ハカセの体を通りぬけて、ハカセはヘイキでわらっています。
- (4) 「うわッ、キミのわるいじいさんだ。タマがあたつても平気でわらっているぞ」「とてもピストルなどではかなわない」おどろいたフクメンは
- (5) ブラックバードに知らせました。「何ッ、小人ハカセが來たと。よしそれならミドリを牢屋からひっぱり出そう」
- (6) 「さア、ミドリをしばってリューサンの井戸につるせ…えーいさわぐな」「あー助けて下さいー」泣きさけぶミドリをしばりあげます。
- (7) こちらは小人ハカセです。そうくつの中へはいつて「フワリフワリ」といつのまにか足が宙にういてあるいています。それもそのはず、このタテモノのヤネの上のキューの中には
- (8) もうひとりの本物の小人ハカセが居て、パイプをくゆらしながら「フフフ、立体テレビでおくったわしのかげが、フワリフワリとあるいていく。やつらは立体映像とは気がつかないな。フフフフフ」
- (9) 小人ハカセがムデンでおくっている立体像の小人ハカセは、フワリススーといちばんおくへ來ました。「やアブラックバードさん、今日は。ミドリさんをかえして下さい。そこにつるしてあるのは何ですか」
- (10) 「このツナの先にはミドリがつるしてあるのだ。小人ハカセよ、お前がコーサンしなければ、このツナを切ってミドリを下のリューサンの井戸へおとすぞ。そうなればミドリはやけてとけてしまうのだ」

(11) ミドリは氣をうしなつてつるされています。下はテツをもとかすおそろしいネットのリユースの池です。キリキリとツナが少しづつきられていきます。

(12) 「さアどうだ小人ハカセ、何とかへんじをしろ。ミドリがとけて灰になってもいいのか。それ、あと少しでツナが切れるぞ…おいッ、へんじをしろ」果して…